

# 国語1年

## 光村図書版 [国語] 準拠

### 本書のねらい

本書は日常の学習を通じて、教科書の内容を理解し、定着させるためのテキストです。

まず、教科書の単元内容の理解に必要な基本知識を学習できるように単元の要点をまとめています。次に「読む」単元の学習に必要な読解力や記述力、「話す・聞く」「書く」「情報」などの単元で行う活動につながる実践力、これらを強化していくために多彩な問題を掲載しています。

以下のような構成で、日々の授業の復習から定期テスト対策まで、効率よく学習することができます。

### 本書の構成

#### ■ 単元の確認

【全体像の確認】→【全体像の確認問題】(説説・小説など)

文章内容をまとめた図を中心に、全体像をつかみ、問題を解いて確認します。

文章中のキーワードは、太字で示しています。

【作者・作品の確認】→【作者・作品の確認問題】(古典・詩歌)

作者・作品・作品背景などをつかみ、問題を解いて確認します。(重要語句は太字で示しています。)

#### ■ 知識の確認 (古典・詩歌) → ■ 知識の確認問題 (古典・詩歌)

内容理解に必要な知識事項をまとめた一覧表などで学習し、一問一答形式の問題を解いて確認します。

古典の歴史的仮名遣い・返り点・送り仮名、詩歌の形式や表現技法など

#### ■ 漢字・語句の確認

新しく学習する漢字の読み書き・語句の意味を中心に、文章を読むための基礎事項を問題を解いて確認します。

#### ○ 基本問題

教科書の文章内容を理解し、基本的な読解力を身につけるための問題です。

さまざまな形式の問題を解きながら、文章を読み深めます。

#### ○ 実戦問題・応用問題

身につけた読解力・記述力の、さらなる向上を目指します。

定期テストの頻出部分に再度取り組み、○ 実戦問題より難易度が高く、角度の違う問題を解くことで、さまざまな問題への対応力を身につけます。

#### マークについて

思考力・判断力・表現力  
さまざま角度から物事を捉えたり、考えて表現したりする  
とて「思考力・判断力・表現力」を  
伸ばす問題です。  
よく出題される問題です。

#### ■ 「話す・聞く」「書く」「情報」などの単元

【知識の確認】→【知識の確認問題】

定期テストで出題されやすい知識事項を中心に、実際の活動に生かせる実践問題にも取り組みます。

#### ■ 文法単元

【文法の確認】・【文法の確認問題】→【定期テスト得点UP問題】

上段の文法事項のまとめを参考にしながら、下段の問題を解き、最後に総合的な問題に取り組みます。

目次

卷之三

## 情報社会を生きる

情報を集めよう  
情報を読み取ろう

情報を引用しよう

### 3 言葉に立ち止まる

14 詩の世界

15 比喩で広がる言葉の世界

言葉1 指示する語句と接続する語句

言葉を集めよう もつと「伝わる」表現を曰さじて

読書生活を豊かに

あと少し、もう少し

西の魔女が死んだ

ブラインドの向こうに見える光

季節のしおり 夏

### 4 心の動き

16 本の中の中学生  
大人になれなかつた弟たちに……

17 星の花が降るころに

18 聞き上手になろう 質問で話を引き出す

19 項目を立てて書こう 案内文を書く

20 推敲 読み手の立場に立つ

21 言葉2 漢字の音訓

### 5 筋道を立てて

22 思考のレッスン2 原因と結果

87 78

136 126  
137 135

/ /

77 76

123 121  
124 122

/ /

75 74

118 116  
119 117

/ /

66 57

106 96  
115 105

/ /

52

94 88  
89 87

/ /

48 44

80 77  
81 79

/ /

39 36

68 62  
72 63

/ /

## 8 自分を見つめる

32 少年の日の思い出  
漢字に親しもう5

33 隨筆一編  
構成や描写を工夫して書こう  
体験を基に隨筆を書く

34 文法・漢字・振り返り  
要点をフリップにまとめ、発表する

35 さくらのはなびら  
一年間の学びを振り返ろう

36 文法3 単語の分類  
文法への扉3  
文法2 文の組み立て

37 文法1 言葉の単位  
文法への扉2

38 文法への扉3  
文法3 単語の分類

39 文法2 文の組み立て  
文法への扉3

40 [練習] 小学校六年生で学習した漢字  
学習を広げる

41 手紙の書き方  
坊っちゃん

42 幻の魚は生きていた

184 182 180

177 173 165 161

/ / / /

159 158 157 155 153 152 149 148 135

234 230 229 227 224 220 216 214 198  
236 233 228 226 223 221 219 213

/ / / / / / / /

43 42 幻の魚は生きていた  
百人一首を味わう

294 288 278 276  
295 291 287 277

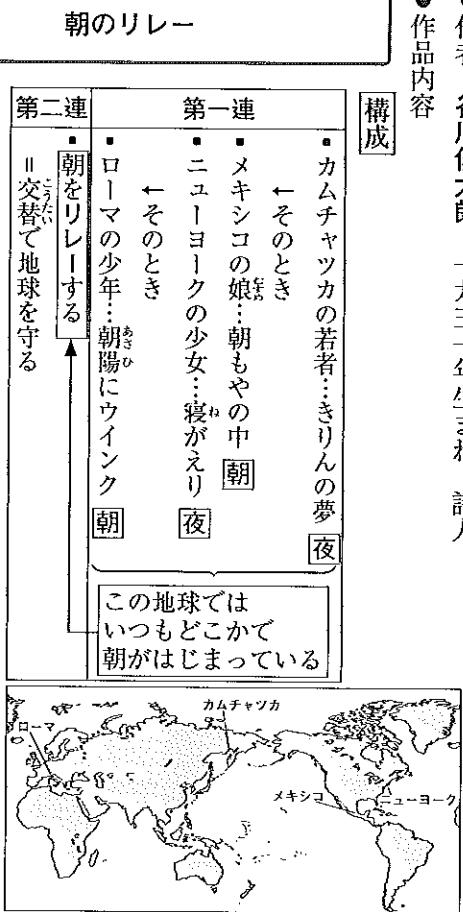
/ / / /

# 朝のリレー

## ● 単元の確認

- 作者・作品の確認
- 作者：谷川俊太郎：一九三一年生まれ。詩人。
- 作品内容

### 構成



### 作者・作品の確認問題

〔1〕「朝のリレー」の作者の名前を、漢字で書きなさい。

- 〔2〕「この地球では／いつもどこかで朝がはじまっている」ことを、作者は第二連で何と表現していますか。□に当てはまる言葉を書きなさい。

・「ぼくらは□を□するのだ」

□を  
□

するのだ

## ■ 知識の確認

・ 情景を思いながら詩を読む。

### 1 連

- ・ 詩の中に設けられた、内容上のまとまりを連といいう。
- ・ 連と連の区切りは、普通、一行空きで示される。

### 詩の分類

(1)用語	文語詩	古い言葉や文法（文語）を使って書かれた詩。
口語詩	現代の話し言葉（口語）に近い文體で書かれた詩。	
定型詩	五音・七音など、音数に一定の決まりがある詩。	
自由詩	音数に一定の決まりがない、自由な形式で書かれた詩。	
散文詩	普通の文章（散文）の形の中に詩的な感動を盛りこんだ詩。	

参考 40 ページ 知識の確認

### 3 表現技法

喻	直喻	「ようだ」「みたいだ」などを使って、直接たとえる方法。
隱喻	「ようだ」「みたいだ」などを使わずにたとえる方法。	
比	人でないものを人にたとえる方法。	
擬人法	普通の言い方と、言葉の順序を入れかえる方法。	
倒置	人でないものを人にたとえる方法。	
反復	同じ言葉をくり返す方法。	
対句	同じような言い回しの言葉を対応させて並べる方法。	

### 知識の確認問題

〔1〕詩の分類 詩の中に設けられた、内容上のまとまりを何といいますか。漢字一字で書きなさい。

- 〔2〕表現技法 普通の言い方と、言葉の順序を入れかえる表現技法を何といいますか。漢字二字で書きなさい。

〔3〕表現技法 同じような言い回しの言葉を対応させて並べる表現技法を何といいますか。漢字二字で書きなさい。

□□  
□□  
□□

(1) — 線 「いつもどこかで朝がはじまっている」について、次の各問いに答えなさい。

ぼくらは朝をリレーするのだ  
そうしていわば交替で地球を守る  
眠る前のひととき耳をすますと  
どこか遠くで目覚時計のベルが鳴つてゐ  
それはあなたの送った朝を  
誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ

朝もやの中でバスを待つてゐる  
ニューヨークの少女が  
ほほえみながら寝がえりをうつとき  
ローマの少年は  
柱頭を染める朝陽にウインクする  
この地球では  
いつもどこかで朝がはじまっている

朝のリレー 谷川 俊太郎  
カムチャツカの若者が  
きりんの夢を見ているとき  
メキシコの娘は

▽▽▽次の詩を読んで、後の問い合わせに答えなさい。



- 1 第一連で、「朝がはじまっている」場所はどこですか。詩の中から二つ抜き出しなさい。  
(15点×2)

2 第一連の内容をふまえて考えると、「いつもどこかで朝がはじまっている」とは、どういうことですか。次の文の□に当てはまる言葉を、「どこの」「夜」という言葉を使って二十字以内で書きなさい。  
(30点)

- ・地球上では、□ということ。


3 □出る 「いつもどこかで朝がはじまっている」ことを、第二連で、作者はどのようにとらえていますか。次の文の□に当てはまる言葉を、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。  
(5点×2)

・ 地球に暮らす私たちが□を□しているととらえている。

- (2) 第一連で使われている表現技法として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(15点)

ア 直喻 イ 倒置 ウ 反復 エ 対句

(3) この詩から読み取れることとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(15点)

ア 遠い国の人たちも、同じ地球でつながりをもつた仲間だということ。  
イ 地球上の人たちは、それぞれつらい仕事を任されているということ。  
ウ 地球の裏側に住む人たちの生活を想像するのは、困難だということ。  
エ 世界には数多くの国があるが、人の暮らしぶりは同じだということ。

--

## 2 野原はうたう

### ● 単元の確認

#### 作者・作品の確認

- 作者：工藤直子（詩人・児童文学作家） 「野原はうたう」で取り上げられている  
 ● 作品：詩集「のはらうた」

「のはらむら」に住んでいる詩人たちの詩を、「くどうなおこ」が書き留めているという形をとっている。表記は全て平仮名でなされている。

#### 「野原はうたう」の二つの詩

##### 春 あしたこそ

詩人：たんぽぽ はるか

- 新しい出会いへの希望を胸に、
- まい上がるたんぽぽの綿毛。

##### 夏 おれはかまきり

詩人：かまきり りゆうじ

- 照りつける太陽のもと、エネルギーに満ちたかまきりの姿。

#### 作者・作品の確認問題

- 1 児童文学作家として知られる、「野原はうたう」の二つの詩の作者の名前を、漢字で書きなさい。

- 2 「野原はうたう」の二つの詩は、どのような動植物が詩人となって、どの季節をえがいているかを、それぞれ書きなさい。

- ① 「あしたこそ」  
 ② 「おれはかまきり」

動植物

季節

#### 知識の確認

##### 詩の分類

- (1) 用語上の分類：文語詩・口語詩  
 (2) 形式上の分類：定型詩・自由詩・散文詩

参考4ページ 知識の確認

- ① (1)・(2)を組み合わせて  
 選び、記号で答えなさい。

・山は登り、海は潜る。

ア 隠喻 イ 対句 ウ 擬人法 エ 倒置

ア 隠喻 イ 対句 ウ 擬人法 エ 倒置

□ □

### 2 表現技法

参考40ページ 知識の確認

- 表現の方法に注意して、詩を読む。
- 人物の様子や気持ちを想像しながら読む。

直喻	「ようだ」などを使ってたとえる方法。 効果：情景・心情がわかりやすい。
明喻	「ようだ」などを使わずにたとえる方法。 効果：強い印象をあたえる。
隠喻	人でないものを人にたとえる方法。 効果：生き生きとした印象をあたえる。
(暗喻)	人でないものを人にたとえる方法。 効果：生き生きとした印象をあたえる。
擬人法	例：妹は小動物だ。 例：波がささやく。

対句	行末を体言（名詞）で終える方法。 効果：しみじみとした余韻を残す。
倒置	普通の言い方と、言葉の順序を入れかえる方法。 効果：切れのよいリズム・情景や心情の強調。
対句	言葉を形や意味が対になるように並べる方法。 効果：整然とした印象をあたえる。
対句	例：海外に行きたい、来年には。 例：花は野に咲き、鳥は木に歌う。

#### 知識の確認問題

- 1 詩の分類 次の説明は、「定型詩」「自由詩」「散文詩」のうち、どの説明ですか。書きなさい。

- ・音数にとらわれない自由な形式の詩。

- 2 表現技法 次のようない表現技法を何といいますか。適切なものを後から一つ選び、記号で答えなさい。

- ・普通の言い方と、語順を入れかえる。

ア 対句 イ 倒置 ウ 体言止め エ 比喩（たとえ）

□ □

- 3 表現技法 次の文に使われている表現技法として適切なものを見つめ、記号で答えなさい。

- ・山は登り、海は潜る。

はなひらく ひを  
ゆめにみて  
たんぽぽわたげが  
まいあがります  
とんていこう どこまでも  
あした  
たくさんの「こんにちは」  
でうたために

あしたこそ  
たんぽぽ  
はるか

ママ、次の詩を読んで、後の問い合わせに答えなさい。



(1) この詩にえがかれている季節として適切なものを次から一つ選び、記号で

ア 春  
イ 夏  
ウ 秋  
エ 冬

(2) 第一連では、何がどのようなことを夢見ていると表現されていますか。次の文の□に当てはまる言葉を、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。

ことを夢見ている。

(3) 第二連について、次の各問いに答えなさい。

第一連で使われている表現技法を次から一つ選び、記号で答えるなさい。  
（20点）

ア 対句  
イ 隠喻  
ウ 直喻  
エ 倒置

2 第二連で、最も強調されている部分を抜き出しなさい。

卷之三

(4) この詩には、どのような気持ちが表現されていますか。〔期待する〕  
という言葉を使って、十五字以上二十五字以内で書きなさい。 (30点)

〔工藤直子「野原はうたう」より〕

10

5

<b>定期テスト</b>	<b>得点</b>
UP 問題	
得点	
——— 100	

次の詩を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

あしたこそ たんぽぽ はるか

ひかりを おでこに

くつづけて  
はなひらく ひを

ゆめにみて

たんぽぽわたげが

まいあがります

とんでいこう どこまでも

あした

たくさん 「こんなにちは」 に  
であうために

おれはかまきり かまきり りゅうじ

おう なつだぜ  
おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな  
おれの こころも かまも

<sup>①</sup> どきどきするほど  
ひかつてるぜ

おう あついぜ  
おれは がんばるぜ  
もえる ひをあびて  
かまを ふりかざす すぐた  
わくわくするほど  
きまつてるぜ

〔上 藤直子「野原はうたう」より〕

(1) 「あしたこそ」の詩の第一連から、「たんぽぽ はるか」のどんな気持ちが読み取れますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(5点)

ア 花が開くことを楽しみに思う気持ち。

イ 遠くへ行くことを不安に思う気持ち。

ウ 花が咲いたことをうれしく思う気持ち。

エ 空を飛べることを不思議に思う気持ち。

(2) 「あしたこそ」の詩の第二連から、「たんぽぽ はるか」の決意が読み取れる一行を抜き出しなさい。(10点)

(3) 「あしたこそ」の詩の第二連から読み取れる、「たんぽぽ はるか」の気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(5点)

ア 見知らぬ土地に行くことへの不安。

イ 仲間と別れることに対するさびしさ。

ウ 新しい出会いに対する期待。

エ どこまでも飛んでよいと言われたことへの感謝。

(4) 「おれはかまきり」は何をえがいた詩ですか。次の文の□に当てはまる言葉を、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。

(5点×3)

(8) 「おれはかまきり」の詩は、どのように朗読するとよいですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(10点)

- ア はきはきと力強く読む。  
イ 小さな声で寂しそうに読む。  
ウ 怒ったように速く読む。  
エ ゆつたりと優しい感じで読む。

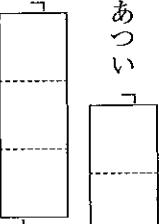
- 「」と、威勢よく始め、自分をとよび、文末
- の多くに「」を使って、勢いや力強さを表現している。

- (6) 線②「わくわくするほど／きまつてゐるぜ」からわかる、かまきりの様子として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(5点)
- ア 静かに喜びをかみしめている様子。  
イ 自分の姿に自分で見ほれている様子。  
ウ 自信がないことをこまかしている様子。  
エ さびしさをこらえて強がっている様子。
- (7) 「おれはかまきり」の詩の表現について、次の文のに当てはまる言葉を、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。  
(5点×3)

- 「」と、威勢よく始め、自分をとよび、文末

- 3 Dに当てはまる言葉として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(10点)
- ア 第一連は、かまきりの様子が客観的にえがかれている。  
イ 第二連は、作者からかまきりへの呼びかけになつていて。  
ウ 第一連と第二連で、ほとんどの行が対応する表現になつていて。  
エ 第一連と第二連で、全く同じ言葉がくり返されている。

- (5) 線①「どきどきする」とあります、何のどんな様子に「どきどきする」のですか。詩の中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。  
(10点)
- 「あつい」「に、」に活動するかまきりの姿。



のような太陽の光を浴びて、

表現	A	「あしたこそ」
季節	B	「おれはかまきり」
動植物	かまきり	
用いられている。	D	

- 1 A・Bに当てはまる言葉を、それぞれ書きなさい。  
(5点×2)

A	<input type="checkbox"/>
B	<input type="checkbox"/>

- 2 Cに当てはまる言葉として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(5点)
- ア イ ウ エ  
C 隠喻 対句 倒置 直喻

表現	A	「あしたこそ」	B	「おれはかまきり」
季節	A		B	
動植物	かまきり			
用いられている。	D			

- (9) 思考力・判断力・表現力 「あしたこそ」と「おれはかまきり」の詩について、次の表にまとめました。この表について、後の各問い合わせに答えなさい。

### 3 声を届ける

話す・聞く

#### 知識の確認 ■

##### ① 音読する

- 意味のまとまりがはつきりと伝わるようにする。  
→言葉や文章の区切り目に気をつけて読む。

- 場面の移り変わりや内容のまとまりを考える。  
→間を取る箇所や長さを工夫する。

- 文章の意味や大切なところ、表現の特色を考える。  
→読む速さや声の強弱、言葉の調子などを工夫する。

##### ② 発表する

聞いている人の方を見て、  
はつきりと話す。

- ←反応を確かめて  
大切な部分は、ゆっくりと大きな声で話す。

- 必要があれば、言葉を言いかえたり、付け足したりする。

##### ③ 発表を聞く

- 相手を見て、うなづくなどの反応を返しながら聞く。

- 自分の考えと比べたり、大切な情報を書き留めたりしながら聞く。

##### ④ 日本語の音声

###### ● 母音と子音

- 母音…a・i・u・e・o

日本語の音は、母音と子音の組み合わせでできている。  
→母音を意識して話すと、発音がはつきりする。

- 音の高さ・強さ

- アクセント…言葉の中にある音の高低。

- インтоネーション…文全体の音の高低。

- プロミネンス…文中のある語を強調して

発音すること。

#### 知識の確認問題

- 1 音読 次の文章を音読するとき、一箇所で間を取るとしたら、どこで取るのが適切ですか。【ア】→【エ】から一つ選び、記号で答えなさい。  
彼の乗った列車がゆっくりと動きだした。【ノ】

「さようなら！ また会おうね！」【イ】

私は、列車が見えなくなるまで手をふり続けた。【ウ】

- 初めはまめに連絡を取り合っていたが、しだいに彼を思い出すことも少なくなっていた。【エ】

- それから三年たった夏の日のことだ。私は、彼を見送った駅で列車を待っていた。すると、なつかしい声がした。

- 2 発表 発表をしたり聞いたりするときの注意点として適切ではないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 読み間違いがないように、手に持った原稿をしっかりと見ながら話す。

- イ 聞き手の反応を確かめ、必要に応じて言いかえたり付け足したりする。

- ウ 聞くときは、自分の考えと比べたり、大切な情報を書き留めたりする。

- エ 相手を見て、うなづくなどの反応を返しながら聞くようにする。

- 3 日本語の音声 「すみれ」という言葉を母音と子音に分けると「s・u・m・i・r・e」となります。このうち、どの音を意識して話すと、はつきりした発音になりますか。三つ書きなさい。




- 4 日本語の音声 相手に質問する意味で、「この本はここに置くの。」と言ったには、どのようにすればよいですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 全体的に強い調子で話す。
- イ 「この」を強く発音する。
- ウ 文の最後を上げて話す。
- エ 文の最後を下げる話す。

## 4 書き留める／言葉を調べる

### 知識の確認

#### 1 ノートの書き方

- 大切なところや目立たせたいところを工夫して書き留める。
- わくて囲んだり、線を引いたりする。
- 矢印や箇条書き、図を使って整理する。
- 色で印を付けたり、記号やマークを付けたりする。

#### 2 言葉の調べ方

##### 国語辞典

- 言葉の意味・使い方・漢字での書き表し方などを調べるとき。

##### 漢和辞典（漢字辞典）

- 漢字の読み方・成り立ち・意味、熟語の意味などを調べるとき。

##### 使つとき

- 読み方がわかる。

##### 方引き

- 部首がわかる。

→ 部首索引で引く。

##### 引

- 読み方も部首もわからない。→ 総画索引で引く。

- 類語辞典：意味が似ている言葉の、意味のちがいなどを説明したもの。

##### 使つとき

- 適切な言葉が見つからないとき。

- 他の言葉で表現したいとき。

##### ことわざ・慣用句辞典

- ことわざ・慣用句の、意味や使い方について説明

##### 使つとき

- 意味が似ている言葉の、意味のちがいなどを説明したもの。

##### 古語辞典

- 古い時代に使われていた日本語の、意味や使い方について説明

##### 百科事典

- さまざまな分野の事柄について、一つ一つを説明したもの。

##### 使つとき

- どんな資料を調べればよいかわからないとき。

### 知識の確認問題

- 1 ノートノートの書き方の工夫について述べた次の文の□に当てはまる言葉を、後からそれぞれ一つずつ選び、書きなさい。

- 大切なところや目立たせたいところは、□で囲んだり、線を引いたりする。

#### 2 言葉の調べ方

- や箇条書き、図を使って内容を□する。

整理 矢印 わく

- 2 言葉の調べ方 国語辞典で調べるとよい場合として適切ではないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「オーケストラのこうえん」の「こうえん」の漢字での書き表し方。

- イ 「オーケストラの公演」の「公演」の他の使い方。

- ウ 「オーケストラの公演」の「公演」の意味。

- エ 「オーケストラの公演」の「公演」の読み方。

#### 3 言葉の調べ方

- 次の場合、漢和辞典（漢字辞典）のどの索引を使って引きま

- すか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ・「井」という漢字の読み方を知りたいが、部首がわからない。

##### ア 音訓索引 イ 部首索引 ウ 総画索引

##### ア 音訓索引 イ ことわざ・慣用句辞典 ウ 古語辞典 エ 百科事典



## 5 シン・シ・ユン

### ● 単元の確認

#### 全体像の確認

- 「僕」(シユンタ)とシント…「シン・シ・ユン」と呼ばれる。いつもいっしょ。
- 入学式で初めてシントに会ったとき、「僕がいる」と思つて驚いた。
- 身長も同じくらいで、顔もそっくり。好きなものも嫌いなものも同じ。
- 自分自身と話しているようなもの=笑うところも、怒るところも同じ。
- 国語の授業で読んだ小説=暗くて悲しい話だったが、「僕」は好きだと思った。

#### 【僕】の思い

- シントも絶対に好きだろう。

シント…「あれ、嫌いだ。」  
「僕」…「そうだよな。僕も嫌い。」

頭をがつんと殴られたような気がした。  
思わず、シントといっしょにうなずいた。

- 悲しく、悔しかつたけれども、シントと違う自分は嫌だつた。

- 違うところがあれば、僕らはきっといつしょにいられなくなる。

←その後

- シントと違うところを見つけたくない。

- シントと話すときに迷うようになった。あたりまえのことばかりを話した。

- シントも口数が減り、あたりまえのことしか話さなくなる。

→その後

- シントと話すときに迷うようになった。あたりまえのことばかりを話した。

シント…「僕、あの小説が好きなんだ。」「あの、国語の小説。」

「僕」…「僕、あの小説が好きなんだ。」「あの、国語の小説。」

シント…「覚えているよ。」「シユンタが傷ついたのもわかった。」

←シントも「僕」と違うところを発見するのが怖かった。

シント…「またシユンタを傷つけるのも怖かっただしさ。」

「僕」…「傷つくかもしれないけど、……だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」

- 二人はそつくりでも全然違う人間だと実感。=違ったを認め合えるようになる。

←それから、二人は前にもましておしゃべりになつた。=関係が深まる。

#### 仲直り

#### 関係の変化

#### 出会い

- クラスメイトに「シントとけんかしたの。」と聞かれて→けんかもせずに、気まずくなつていてるなんて情けない。

↓「僕」…「どうせなら、ちゃんとけんかしよう」

「僕」…「僕、あの小説が好きなんだ。」「あの、国語の小説。」

シント…「覚えているよ。」「シユンタが傷ついたのもわかった。」

←シントも「僕」と違うところを発見するのが怖かった。

シント…「またシユンタを傷つけるのも怖かっただしさ。」

「僕」…「傷つくかもしれないけど、……だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」

- 二人はそつくりでも全然違う人間だと実感。=違ったを認め合えるようになる。

←それから、二人は前にもましておしゃべりになつた。=関係が深まる。

#### ● 全体像の確認問題

- 1 「僕」(シユンタ)とシントは、どういう関係でしたか。□に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

・身長も同じくらいで、顔も

。

いつも一人いっしょ。

- ・ものも、笑うところも怒るところも

。

好きなものも嫌いなものも同じ。

- 2 「僕」が好きな小説を、シントに「嫌いだ」と言われたとき、「僕」はどうしましたか。□に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

- ・頭をがつんと
- 
- ような気がしたけれども、思わず、

- シントといっしょに
- 
- 。

- 3 「僕」とシントは、2の後、どうなりましたか。□に当てはまる言葉を書きなさい。

- ・□のことしか話さなくなり、離れていった。



。

- 4 「僕」は、小説について改めてシントと話したことで、どう思えるようになりましたか。□に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

- ・「僕」の好きなものをシントに嫌いと言われたときは、どうして



。

- ・「僕」の好きなものをシントに嫌いと言われたときは、どうして
- 
- 。

。

- ・心情や行動を表す語句に着目して内容を読み取る。  
・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を読み取る。

## 漢字・語句の確認

教科書 p. 22 / 29

- ◆ 1 漢字の読み書き——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

- ( ) □ ① はつと驚く。 ( ) □ ② 鼻筋の長さ。 ( ) □ ③ 磁石が引き合う。  
 ( ) □ ④ 嫌いな食べ物。 ( ) □ ⑤ 牛丼を食べる。 ( ) □ ⑥ 靴下をはく。  
 ( ) □ ⑦ 右手で殴る。 ( ) □ ⑧ 負けて悔しい。 ( ) □ ⑨ 黙って行動する。  
 ( ) □ ⑩ 虫を怖がる。 ( ) □ ⑪ 友達に謝る。 ( ) □ ⑫ 笑顔を見せる。  
 ( ) □ ⑬ ボクは中学生だ。 ( ) □ ⑭ セイフクを着る。 ( ) □ ⑮ タンサン飲料  
 ( ) □ ⑯ チヨクセツ話す。 ( ) □ ⑰ タンジョウビを祝う。 ( ) □ ⑯ 大きさがチガう。  
 ( ) □ ⑲ 同時にフリ返る。 ( ) □ ⑳ 大声でオコる。 ( ) □ ㉑ ゼッタイに勝つ。  
 ( ) □ ㉒ 雨がフっている。 ( ) □ ㉓ 故郷をハナれる。 ( ) □ ㉔ 心がキズつく。

- ◆ 2 語句の意味 次の語句の意味を、( ) に言葉を当てはめて完成させなさい。
- ① なおさら と。 ますます。

② うつとうしい

になつて、わざらわしい。

③ しかめる

顔に ( ) を寄せる。

④ 口数

の数。

⑤ 情けない

( ) のある。

- ◆ 3 類義語 「照れくさい」の類義語として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 齒がゆい イ ほこらしい  
ウ 気はずかしい エ なげかわしい

- ◆ 4 短文作成 次の語句を使って、短文を作りなさい。

① ……にちがいない

② 気まずい  
③ ……にもまして

▼▼▼ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

得点

中学校に入学した「僕」(シンタ)は、自分とそつくりなシンタと出会い、すぐに仲よくなつた。二人は、外見が似ているだけではなく、好きなものも嫌いなものも、笑うところも怒るところも同じだった。一人はいつもいつしょで、みんなに「シン・シュン」とよばれた。ある日、「僕」は国語の授業で小説を読んだ。暗くて悲しい話だが、「僕」は好きだと思った。そして、「僕」は、シンタも絶対好きだらうと思つていた。

休み時間、僕はいつものようにシンタの席へ行つた。待ち切れなかつた。わくわくしながら小説の話を切りだすと、シンタは顔をしかめた。

「あれ、嫌いだ。」

頭をかづんと殴られたような気がした。

② 明くやさ 何か書きたい人が多く

卷之三

その日は、ずつと書しかつた。

僕が好きなものを、シンタが嫌いと言つたことが悲しかつた。「僕は好

「さだ。」と言えなかつたことが悔しかつた。でも、シンタと違う自分は嫌だつ

僕たちは好きなものや嫌いなものが同じだから「シンシン」エンビ

五日後、元氣の回復が進むと、再び活動を開始する。

それから僕は、シンタレ話を二度二三つ聞。

休み時間も放課後も、相変わらずシンタといつしょにいたけど、前みた

に話せなくなつた。

僕はあたりまえのことばかりを話した。「雨が降っているね。」とか、「あ

シンタもなんだかおかしかった。僕と同じように口数が少なくなつて、

したは一時間目から体育だね。」とか

(4) 線②「僕は思わず、シンタといつしょにうなずいた。」について、次の各問い合わせに答えなさい。

1 「シンタといつしょにうなずいた」ことによって、「僕」はどんなことを表したのですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

ア 「僕」も、シンタと同じように、あの小説が好きだということ。  
 イ 「僕」も、シンタと同じように、あの小説が嫌いだということ。  
 ウ 「僕」は、シンタと違つて、あの小説が好きだということ。

2 「シンタといつしょにうなずいた」ことについて、後で「僕」はどう思いましたか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中から抜き出しなさい。

- ・本当のこととシンタに言えなくて、□。(10点)

3 □ 後になつて2のように思つたのに、「シンタといつしょにうなずいた」のは、なぜだと考えられますか。「……から。」に続くように、文章中から十三字で抜き出しなさい。

(10点)

□ から。

(3) □ 「出る」――線③「それは嫌だった。」とあります、どういうことが嫌だったのですか。「僕」とシンタに……に続くように三十字以内で書きなさい。(15点)

「僕」とシンタに

1 線④「あたりまえのこと」について、次の各問いに答えなさい。  
「あたりまえのこと」とは、どういうことですか。適切なものを次から  
一つ選び、記号で答えなさい。

10  
点

僕みたいにあたりまえのことしか話さなかつた。とうとう僕らは黙つてしまつた。黙つてしまうと後はただ気まずくて、だから僕たちはだんだん離れていた。<sup>(6)</sup>

クラスのみんなは「シン・シユン」コンビがいつしょにいないことを心配してくれた。でも、僕たちは自分たちに何があったのか、みんなに説明すことができなかつた。

ある日、クラスメイトが僕に、

「シンタとけんかしたの？」

そうきいてきた。僕はそのときこう思つた。ああ、けんかできたら楽だろうな。何もしていしないのに、こんなふうに気まずくなるなんて。僕は自分が情けなかつた。そうだ、どうせなら、ちゃんとけんかしよう。勇気がいることだつたけど、こうやつて気まずいよりはましだ。僕はシンタに話しかけた。

〔西〕  
加奈子「シンシュン」より

(1) [出る] —— 線①「あれ、嫌いだ。」というシンタの言葉を聞く前と後の、「僕」の気持ちの変化を次のようにまとめました。[ ] A・Bに当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

[ ] A 「わくわく」という表現から、シンタに早く小説の話をしたいと思う気持ちが読み取れる。ところが、シンタが「あれ、嫌いだ。」と言った後の「[ ] B」という表現から、思わず言葉を聞いて「わくわく」した気持ちが一転し、大きなショックを受けていることがわかる。

B A

ア  
單なる事実にすぎないこと。

イ 前に話したことがあること。

ウ 今言つたことをくり返すだけのこと。

たかいに好きだとわかっていること

「なせ」「僕」は「あたりまえのこと」はかりを話したのですか、次の文の  
こと当てはまる言葉を、それぞれ書きなさい。  
(5点×2)

■ シンタと  
ことがあたりまえのことであれば

シンタと考えが  
を見つけずにするから。

(5) 一線(5)「シルタもなんだかおかしかった。」とあります、どんな様子になつたのですか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

・シンタも「僕」と同じように

卷之三

なり、

(6) 線(6)「僕たちはだんだん離れていった」とあります、このことについて、クラスのみんなはどう思いましたか。クラスのみんなの気持ちがわかる言葉を、文章中から二字で抜き出しなさい。

(7) 線⑦「自分が情けなかつた」とあります、どういうことが「情けなかつた」のですか。「けんか」という言葉を使って二十五字以内で書きなさい。

1



「うん。なんか。」

「つまらないことばかり話してさ。」

一本本当にそうだね。

シンドと僕が夕しふりに話をしているのを  
クニコフイリたちが見ていて、  
るのがわかつた。

でも  
僕は笑ひしかがで  
カ

卷之三

「業毛」

思ったより、大きな声が出たのだろう。シンタは照れくさそうに笑つた。

「またシュンタを傷つけるのも怖かつたしさ。」

卷之三

1

「美の子きなものをシンタが嫌いでも、美は易つかないよ。あ、ううん、

傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこ

好きなのか、どうして嫌いなのか。

シンタはまっすぐ僕を見た。僕もシンタをまっすぐに見た。僕たちはそこ

卷之三

そつくりさうだ、全然違う人間なのだつた。

⑤ 一 話 そ う。 た く き ん。

僕たちはそれから、前にもましておしゃべりになつた。  
（続）  
かんなこ

〔西〕  
加奈子「シン・シユン」より

——線①「シンタに話しかけた」について、次の各問いに答えなさい。

シンタに話しかけることにしたきっかけはどんなことでしたか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。(5点×2)

定期テスト 得点問題
得点 _____
100

次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

「僕」(シンタ)とシンタはそつくりで、仲よしだった。ある日、「僕」は国語の授業で読んだ小説を好きだと思った。そして、「僕」は、シンタも絶対好きだらうと思った。しかし、シンタはその小説が嫌いだと言い、「僕」も思わず嫌いだと言つてしまつた。

その日は、ずっと苦しかつた。

僕が好きなものを、シンタが嫌いと言つたことが悲しかつた。「僕は好きだ。」と言えなかつたことが悔しかつた。でも、シンタと違う自分は嫌だつた。僕たちは好きなものや嫌いなものが同じだから「シンシン」コンビなんだ。違うところがあれば、僕らはきっとしょにいられなくなる。それは嫌だつた。絶対に嫌だつた。

それから僕は、シンタと話すときには迷うようになつた。  
休み時間も放課後も、相変わらずシンタといつしょにいたけど、前みたいに話せなくなつた。  
僕はあたりまえのことばかり話をした。「雨が降っているね。」とか、「あし  
たは一時間目から体育だね。」とか。

シンタもなんだかおかしかつた。僕と同じように口数が少なくなつて、僕みたいにあたりまえのことしか話さなかつた。とうとう僕らは黙つてしまつた。黙つてしまつた後はただ気まずくて、だから僕たちはだんだん離れていつた。クラスのみんなは「シンシン」コンビがいつしょにいないこと心配してくれた。でも、僕たちは自分たちに何があつたのか、みんなに説明することができなかつた。

ある日、クラスメイトが僕に、「シンタとけんかしたの。」

そうきてきた。僕はそのときこう思つた。ああ、けんかできたら楽だらう

な。何もしていないのに、こんなふうに気まずくなるなんて。僕は自分が情けなかつた。そうだ、どうせなら、ちゃんとけんかしよう。勇気がいることだつたけど、こうやって気まずいよりはましだ。僕はシンタに話しかけた。

「シンタ。」

シンタは僕を見た。ちよつと怖がつてゐるみたいに見えた。

「僕、あの小説が好きなんだ。」

「え?」

「あの、国語の小説。」

覚えていないかもしれない。急にこんなことを言うのは変だ。でも、そこから話をするとしかなかつた。僕は必死だつた。だから、

「覚えているよ。」

シンタがそう言つてくれたときは驚いた。それから、こう続けたときも。

「僕が嫌いつて言つたとき、シンタが傷ついたのもわかつた。」

気づいていたんだ。謝ろうとした僕より先に、シンタが「ごめん」と言つた。

「僕たち、あれからちょっとおかしいよな。ちよつとつていうより、だいぶ。」「うん。なんか。」

「つまらないことばかり話してさ。」

「本当にそうだね。」

シンタと僕が久しぶりに話をしているのを、クラスメイトたちが見ているのがわかつた。

でも、僕は気にしなかつた。

「僕、シンタと違うところを発見するのが怖かつたんだ。」

シンタも、気にしていなかつた。

「僕も!」

思ったより、大きな声が出たのだろう。シンタは照れくさそうに笑つた。

「またシンタを傷つけるのも怖かつたしさ。」

シンタのその笑顔が、僕は好きだつた。大好きだつた。

「傷つかないよ。」

「え？」

「僕の好きなものをシンタが嫌いでも、僕は傷つかないよ。あ、ううん、傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」

シンタはまっすぐ僕を見た。僕もシンタをまっすぐに見た。僕たちはそつくりだった。

「うん。話そう。」

そつくりだけど、全然違う人間なのだった。  
「話そう。たくさん。」

僕たちはそれから、前にもましておしゃべりになつた。

〈西 加奈子「シンシュン」より〉

(1) — 線①「シンタと話すときに迷うようになった」とあります、具体的にどうなつたのですか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中から抜き出しなさい。

(10点)

・シンタと□ ところが出ないよう、話題を選ぶようになった。

(2) — 線②「ちゃんとけんかしよ」について、次の各問いに答えなさい。

1 そのように思ったのはなぜですか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中から抜き出しなさい。

(10点)

・けんかするほうが、□ 状態が続くよりもましだと思つたから。

2 「僕」にとつての「けんか」とはどうすることを意味していましたか。「小説について、……」に続くように書きなさい。

(20点)

(3) — 線③「つまらないことばかり話してさ。」とあります、シンタが「つまらないこと」ばかり話したのはなぜですか。「シユンタ」という言葉を使って書きなさい。

(20点)

(4) — 思考力・判断力・表現力 この文章を読んだ井上さんは、感想を次のようにまとめました。これについて、後の各問いに答えなさい。

「僕」は、シンタと□だから、シンタといつしょにいられるときを考えていました。でも、小説の件について改めて話し、好き嫌いが分かったときは、□Bについてたくさん話そうと考えるようになりました。私も、仲直りした後の二人のように、友達と□C関係を築きたいと思います。

1 □ A・Bに当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

(15点×2)

2 □Cに当てはまる言葉として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- A 話をしなくてもわかり合える  
B いつでもいつしょにいられる  
C おたがいの違いを認め合える  
D どんなときも意見が一致する

## 6 [聞く] 情報を的確に聞き取る／季節

〔聞く〕 情報を的確に聞き取る／季節のしおり 春

## 知識の確認

- 話を聞くときは、必要な情報を的確にとらえることが大切である。そのために、要点をおさえながら話を聞き、必要な情報をメモに取る。

話を聞くときは、目的に応じて、どんな情報が必要なのかを考える。

聞き取れなかつたことや、わかりにくかつたことは、質問して確かめる。

キーワード（重要な言葉）は何かを考えながら聞き、すばやく書き留める。

箇条書きにしたり、番号や記号を付けたり、大事なところに線を引いたりする。

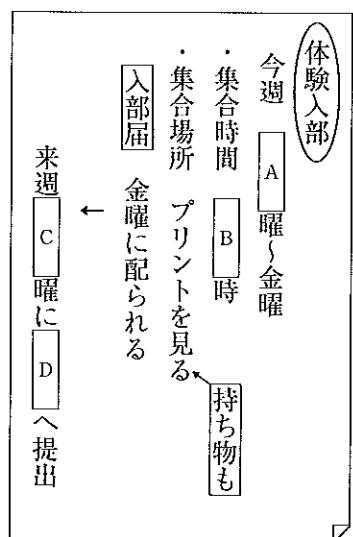
話す・聞く

## 知識の確認問題

知識の確認問題

メモ 一年生に向けた部活動についての次の説明を聞いて、後のようにメモを取りました。□ A～Dに当てはまる言葉を書きなさい。

今週の水曜日から金曜日まで、部活動の体験入部があります。参加者は、午後三時に、各部の活動場所に集合してください。活動場所は、担任の先生から配られるプリントにのつていますので、各自で見てください。各部で必要な持ち物も、プリントに書かれています。顧問の先生への連絡は不要です。また、正式な入部届については、今週の金曜日に、全員に用紙が配られます。入部希望者は、必要なことを記入して、来週の月曜日に、担任の先生に提出してください。



季節のしおり　春

次の言葉の意味として適切なものを後からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 花霞  
② 花明り

1

③ 花便り

1

明日の放課後

学校周辺のごみ拾い

○集合 午後4時 校門

○持ち物

- ・軍手
- ・ビニールぶくろ

↑

大きめ

午後5時解散予定

● 持ち物      ● 場所      ● 日時      ● 行われること

を、聞きも  
らさずに書  
き留めてい  
る。

メモ

五時に解散する予定です。

## 〔学級委員からの報告〕

参考11ページ 知識の確認

明日の放課後に学校周辺のごみ拾いを行います。参加者は、午後四時に、校門に集まつてください。持ち物は、軍手とビニールぶくろです。ビニールぶくろは、各自で拾つたごみを入れる際に必要なので、大きめのものを用意してください。具体的にどのような方法で行うかは、集合したときに、先生から説明があります。作業は一時間以内に終え、午後5時

行わること

ア 花が咲いた様子を知らせる便り。  
イ 満開の桜が、遠目に霞のようにあわく見えること。  
ウ 桜が満開で、日が暮れてほのかに明るく感じられる」と。

卷之三

# 7 情報整理のレッスン 比較・分類

## 知識の確認

情報を整理することは、文章や会話の内容をとらえたり、情報をわかりやすく伝えたりするうえで、重要である。情報整理には、次のような方法がある。

### ① 比較する

- 目的に合った観点を選び、表の形に整理する。

### ② 分類する

- 共通点や類似点に着目してグループ分けし、それぞれのグループに見出しを付ける。  
→多くの情報を整理するときに効果的である。

### ③ 分類して比較する

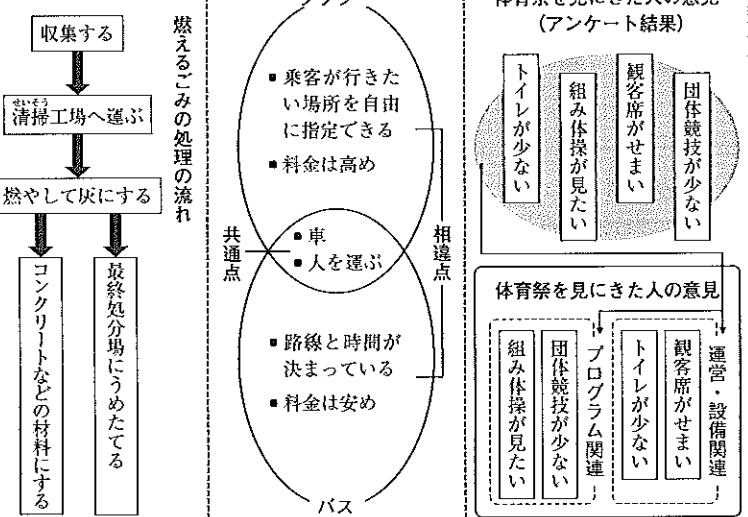
複数の物事に共通する特徴と、それぞれの物事にしかない特徴を分類する。

- 共通点と相違点を整理して比べることができる。

### ④ 順序や流れを整理する

- 物事の順序や流れなどを整理する。

- 構成や手順を理解し、共有するときに効果的である。



情報

## 知識の確認問題

比較・分類 次のア～カは、ある市立図書館に関する情報です。この情報を、後の①～③の観点ごとに整理し、それぞれ記号で答えなさい。

ア 毎週月曜日は休館。

イ 貸し出し期限は二週間。

ウ 蔵書の検索システム完備。

エ 午前九時から午後六時まで開館。

オ 本の貸し出しは、一人十冊まで。

カ 子ども向けの本をそろえた児童室あり。

- ① 図書館の設備。  
② 図書館利用のルール。  
③ 最終処分場にうめたてる

- ① 図書館利用できる日時。  
② 図書館の設備。  
③ 最終処分場にうめたてる

- ① 図書館利用できる日時。  
② 図書館の設備。  
③ 最終処分場にうめたてる

## 漢字の確認

◆ 漢字の読み書き――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

- ( ) ① 内容を捉える。 ( ) ② 赤ん坊が泣く。 ( ) ③ 類似した点。  
 ( ) ④ 付箋に書く。 ( ) ⑤ 本が傷む。 ( ) ⑥ 特徴がある。  
 ( ) ⑦ 情報をヒカクする。 ( ) ⑧ ソウイ点がある。 ( ) ⑨ 大きさがチガう。  
 ( ) ⑩ 犬がアマえる。 ( ) ⑪ イスにすわる。 ( ) ⑫ 蔵書をケンサクする。